



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 三枝 匡

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 真田 佳幸

TEL 03-3647-7124

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	32,687	4.2	4,673	15.5	4,634	8.1	2,833	15.0
24年3月期第1四半期	31,369	9.1	4,046	△4.3	4,285	2.5	2,463	△4.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,668百万円 (8.6%) 24年3月期第1四半期 2,456百万円 (11.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	31.71	31.67
24年3月期第1四半期	27.51	27.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	113,085	92,985	81.8
24年3月期	115,721	91,339	78.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 92,456百万円 24年3月期 90,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	10.20	—	13.00	23.20
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	13.16	—	14.44	27.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	67,000	6.1	8,150	0.3	8,150	△2.4	4,700	△1.7	52.63
通期	138,000	6.0	17,000	2.1	17,000	△0.3	9,850	4.6	110.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社プロミクロス
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	90,636,984 株	24年3月期	90,566,984 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,271,629 株	24年3月期	1,271,629 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	89,347,855 株	24年3月期1Q	89,538,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国的な電力不足による懸念はあったものの、東日本大震災からの復興需要やエコカー購入支援策などから国内需要が堅調に推移するも、緩やかに持ち直してきました。欧州経済は政府債務問題に起因する財政緊縮と金融機関の不良債権問題に起因する貸出の低調さによる内需圧迫により、減速状態が続きました。アジア経済は、欧州経済低迷の影響から成長の牽引役である輸出が大きく減速し、成長率の鈍化傾向が出てきました。当社グループの顧客である機械製造業界においても国内輸出企業を中心とした設備投資や、アジア各国における生産活動が伸び悩む情勢となりました。

このような環境の中においても、当社グループは高品質・短納期・低価格を追求するとともに高い納期遵守率を維持しています。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでいます。国際市場では、アジアを中心に営業拠点を拡充することで販売力を強化すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでおり、売上高を引き続き伸長することができました。

この結果、連結売上高は326億8千7百万円、対前年同期比で13億1千7百万円（4.2%）の増収となりました。なお、事業売却に伴い当第1四半期より連結対象外としているプロミクロスの売上高を除いた前年同期売上高と比較した場合、対前年同期比で21億6千6百万円（7.1%）の増収となります。利益面につきましては、営業利益は46億7千3百万円、対前年同期比6億2千6百万円（15.5%）の増益、経常利益は46億3千4百万円、対前年同期比で3億4千8百万円（8.1%）の増益、四半期純利益は28億3千3百万円、対前年同期比で3億6千9百万円（15.0%）の増益となりました。

・報告セグメントの業績

①自動化事業

主要顧客層である自動車業界では、需要は緩やかながら堅調に推移しましたが、液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界では生産活動の停滞が継続しました。そのような状況下、当社グループは国際市場においてミスミモデルを浸透させることで顧客数を拡大、売上高は213億2千4百万円となり、前年同期比では16億2千万円（8.2%）の増収となりました。営業利益は38億1千5百万円となり、前年同期比では7億7千万円（25.3%）の増益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界は底堅く推移し、売上高は73億8千4百万円となり、前年同期比では6億2千6百万円（9.3%）の増収となりました。営業利益は8億2千2百万円となり、前年同期比では2億6千1百万円（46.6%）の増益となりました。

③エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業は、液晶・半導体業界の低迷の影響はあったものの、売上高は31億2千6百万円となり、前年同期比では1億4千6百万円（4.9%）の増収となりました。営業利益は4億3千1百万円となり、前年同期比では1千4百万円（△3.3%）の減益となりました。

④その他事業

その他事業は、工具、保守・メンテナンス用品（MRO）、消耗品関連の各事業より構成されています。主力商品である超硬エンドミルの販売が好調に推移したことで、その他事業の売上高は17億1千7百万円となり、前年同期比では1億8千1百万円（11.8%）の増収となりました。営業利益は1億8千7百万円となり、前年同期比では4千7百万円（33.5%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第1四半期連結会計期間の総資産は前連結会計年度に比べ26億3千5百万円減少し、1,130億8千5百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が38億2千万円減少したこと、受取手形及び売掛金が9億9千4百万円減少したこと、及び有価証券が20億7千2百万円増加したことなどにより流動資産が24億5千2百万円減少したこと、有形固定資産が7億6千3百万円増加したこと、無形固定資産が3億4千9百万円減少したこと、及び投資その他の資産が5億9千6百万円減少したことなどにより固定資産が1億8千2百万円減少したことであります。

総負債は前連結会計年度に比べ42億8千1百万円減少し、201億円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が8億3千万円減少したこと、未払法人税等が18億5千2百万円減少したこと、及び賞与引当金が2億7千8百万円減少したことなどにより流動負債が43億5百万円減少したことであります。

純資産は前連結会計年度に比べ16億4千5百万円増加し、929億8千5百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が16億7千2百万円増加したことにより株主資本が17億9千7百万円増加したことであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.5%から81.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月17日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 連結子会社であった株式会社プロミクロスは保有株式の全てを売却したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 上記による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,719	32,899
受取手形及び売掛金	28,614	27,620
有価証券	5,951	8,023
商品及び製品	10,503	10,771
仕掛品	887	930
原材料及び貯蔵品	2,819	2,784
その他	2,957	2,974
貸倒引当金	△117	△122
流動資産合計	88,334	85,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,701	6,741
機械装置及び運搬具(純額)	3,824	4,297
土地	3,793	3,805
その他(純額)	1,427	1,667
有形固定資産合計	15,747	16,511
無形固定資産		
ソフトウェア	4,178	3,876
のれん	245	184
その他	323	337
無形固定資産合計	4,747	4,398
投資その他の資産		
投資有価証券	3,758	3,238
その他	3,237	3,158
貸倒引当金	△105	△103
投資その他の資産合計	6,890	6,293
固定資産合計	27,386	27,203
資産合計	115,721	113,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,960	8,130
短期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	4,118	2,265
賞与引当金	878	599
役員賞与引当金	171	100
その他	6,500	5,228
流動負債合計	21,629	17,324
固定負債		
退職給付引当金	2,137	2,150
役員退職慰労引当金	431	448
その他	183	177
固定負債合計	2,752	2,776
負債合計	24,381	20,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,968	6,030
資本剰余金	15,739	15,802
利益剰余金	73,792	75,465
自己株式	△2,151	△2,151
株主資本合計	93,349	95,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	△17
為替換算調整勘定	△2,536	△2,672
その他の包括利益累計額合計	△2,525	△2,690
新株予約権	515	528
純資産合計	91,339	92,985
負債純資産合計	115,721	113,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	31,369	32,687
売上原価	18,630	19,029
売上総利益	12,738	13,658
販売費及び一般管理費	8,692	8,985
営業利益	4,046	4,673
営業外収益		
受取利息	42	43
貸倒引当金戻入額	197	—
雑収入	30	30
営業外収益合計	271	74
営業外費用		
売上割引	8	8
為替差損	18	101
雑損失	4	3
営業外費用合計	31	112
経常利益	4,285	4,634
特別利益		
関係会社株式売却益	—	224
特別利益合計	—	224
税金等調整前四半期純利益	4,285	4,859
法人税等	1,822	2,025
少数株主損益調整前四半期純利益	2,463	2,833
四半期純利益	2,463	2,833

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,463	2,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△29
為替換算調整勘定	△7	△135
その他の包括利益合計	△6	△164
四半期包括利益	2,456	2,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,456	2,668
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化 事業	金型部品 事業	エレクトロ ニクス 事業	その他 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,703	6,757	2,979	1,535	30,976	848	31,825	△456	31,369
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	19,703	6,757	2,979	1,535	30,976	848	31,825	△456	31,369
セグメント利益	3,044	560	446	140	4,192	6	4,198	△152	4,046

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、動物病院・開業医向け医療材料関連事業であります。

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	31,825
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△456
四半期連結損益計算書の売上高	31,369

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,198
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△99
その他の調整額	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	4,046

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,324	7,384	3,126	1,717	33,552	△864	32,687
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,324	7,384	3,126	1,717	33,552	△864	32,687
セグメント利益	3,815	822	431	187	5,256	△583	4,673

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	33,552
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△873
その他の調整額	8
四半期連結損益計算書の売上高	32,687

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,256
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△763
その他の調整額	180
四半期連結損益計算書の営業利益	4,673

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「多角化事業」から「その他事業」に名称を変更しております。なお、「その他事業」には工具、保守・メンテナンス用品(MRO)、消耗品関連の各事業が含まれております。

また、動物病院・開業医向け医療材料関連事業の事業売却に伴い、当第1四半期連結会計期間期首において連結除外とした当該事業について、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、事業売却の影響を考慮し、期間比較が可能となるよう「その他事業」の金額から売却した事業の同期間における実績を控除し、「その他」として記載しております。

(補足情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
22,331	6,876	1,231	929	31,369

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	その他	計
11,265	2,158	1,698	15,121

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	計
当第1四半期 連結累計期間償却額	61	△1	59
当第1四半期末残高	429	△0	429

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
22,906	7,267	1,552	961	32,687

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	ベトナム	その他	計
10,603	3,771	2,136	16,511

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	自動化事業
当第1四半期 連結累計期間償却額	61
当第1四半期末残高	184

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。